

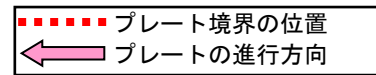
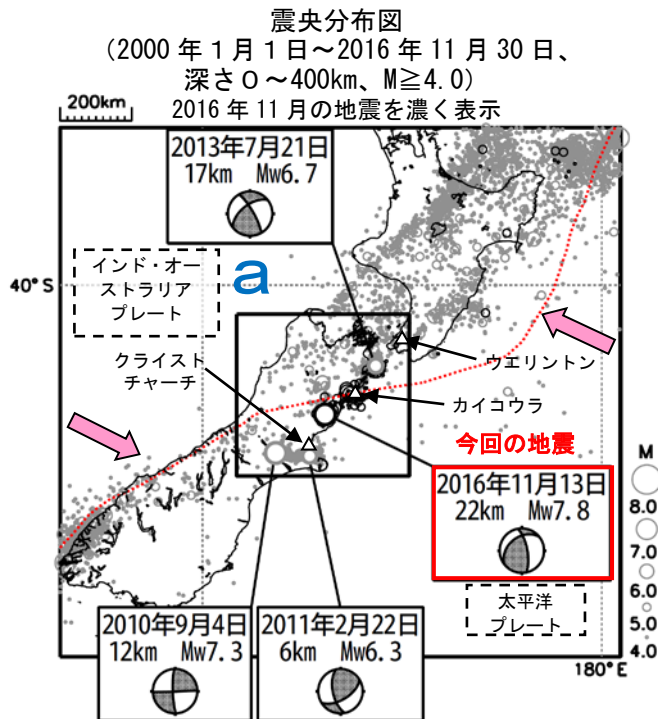
# 11月13日 ニュージーランド、南島の地震

2016年11月13日20時02分(日本時間、以下同じ)にニュージーランド、南島の深さ22kmでMw7.8の地震が発生した。発震機構(気象庁によるCMT解)は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型であった。この地震により死者2人、負傷者58人などの被害が生じた。この地震の発生後、本震から北東約150kmにかけてM4を超える余震が100回以上発生するなど活発な地震活動がみられている。

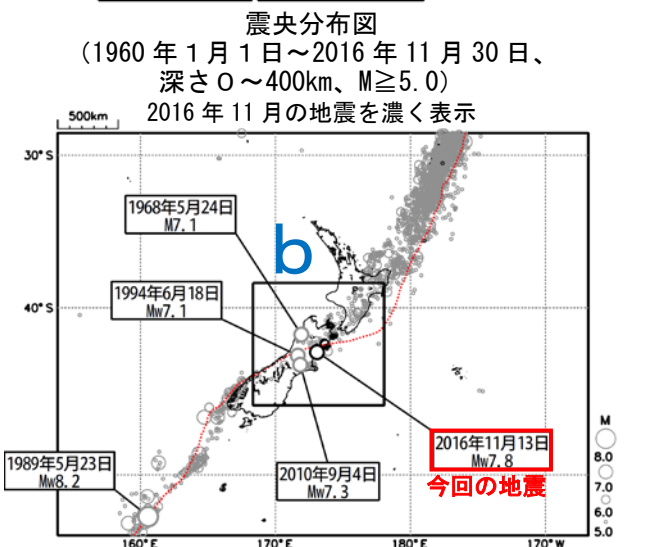
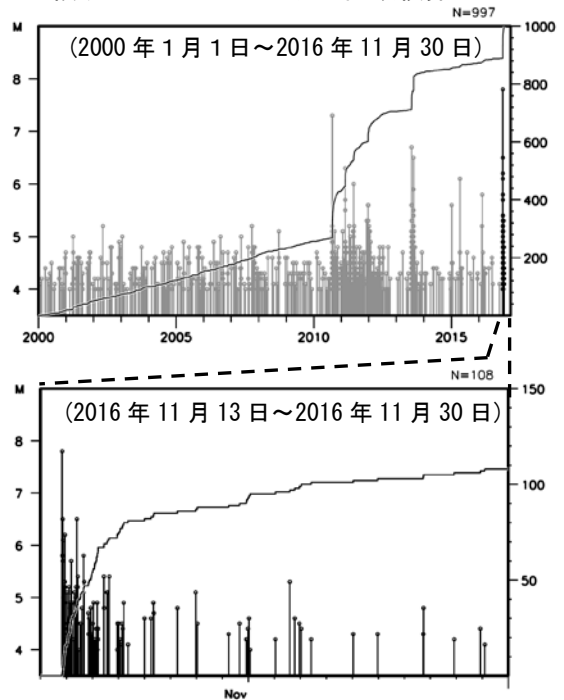
気象庁は、同日20時23分に遠地地震に関する情報(日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」)を発表した。また、今回の地震の震央付近のカイコウラでは、1.5mの津波を観測するなどニュージーランドの複数の観測点で津波が観測された。

2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、2010年9月4日の地震(Mw7.3)の発生以降、まとまった地震活動がみられるなど地震活動が活発になっていて、今回の地震から南南西方向に位置するクライストチャーチ付近では、2011年2月22日にMw6.3の地震が発生し、死者185人などの被害が生じた。

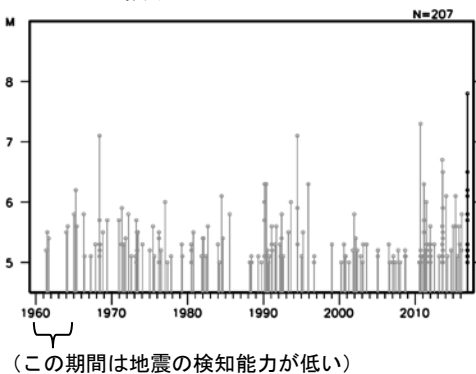
1960年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7を超える地震が数回発生していて、このうち今回の地震(Mw7.8)が最大規模の地震である。



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。震源要素とその他の地震のMwは米国地質調査所(USGS)による。その他の地震の発震機構は、GlobalCMTによる。津波の観測値は、太平洋津波警報センター(PTWC)による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)\*より引用。今回の地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)による。2011年2月22日の地震の被害は、ニュージーランド警察による(2012年2月9日現在)。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.